

全国健康関係主管課長会議

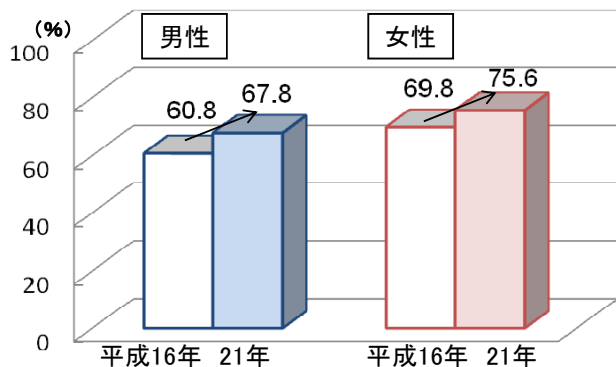
健康局 総務課

生活習慣病対策室

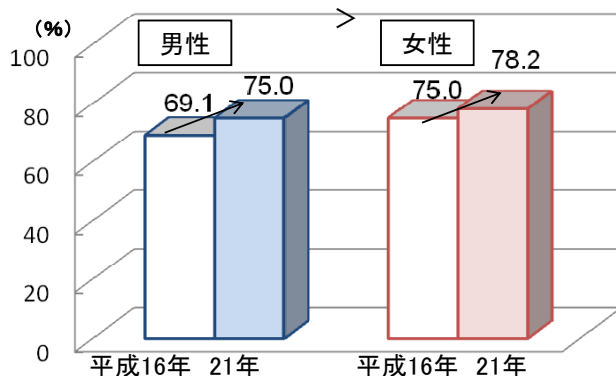
～ 国民健康・栄養調査結果からみた現状～

○体重管理や食事管理の意識は向上しているが、男性の肥満者の割合は依然増加傾向。

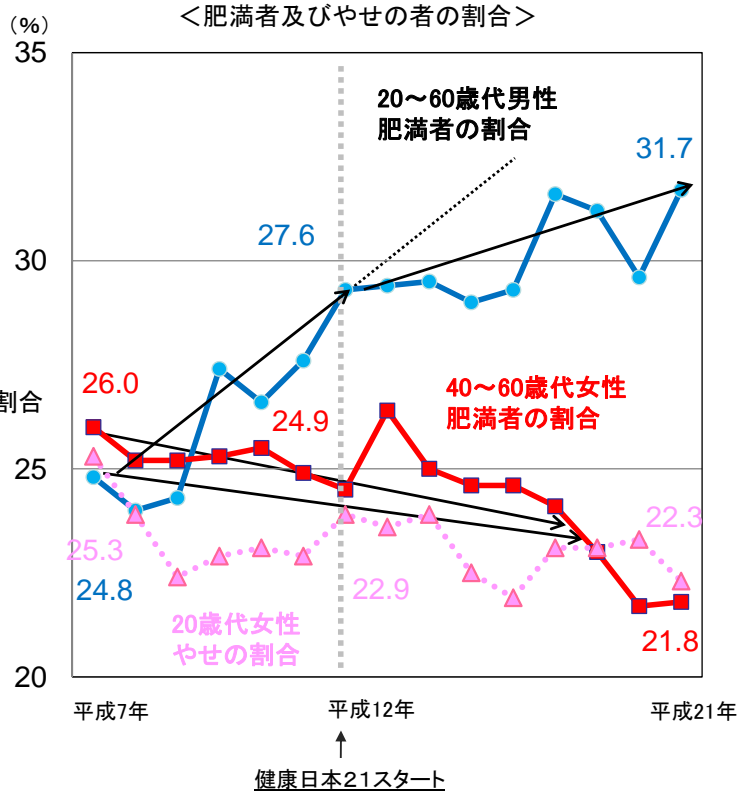
<体重管理を心がけている者の割合>



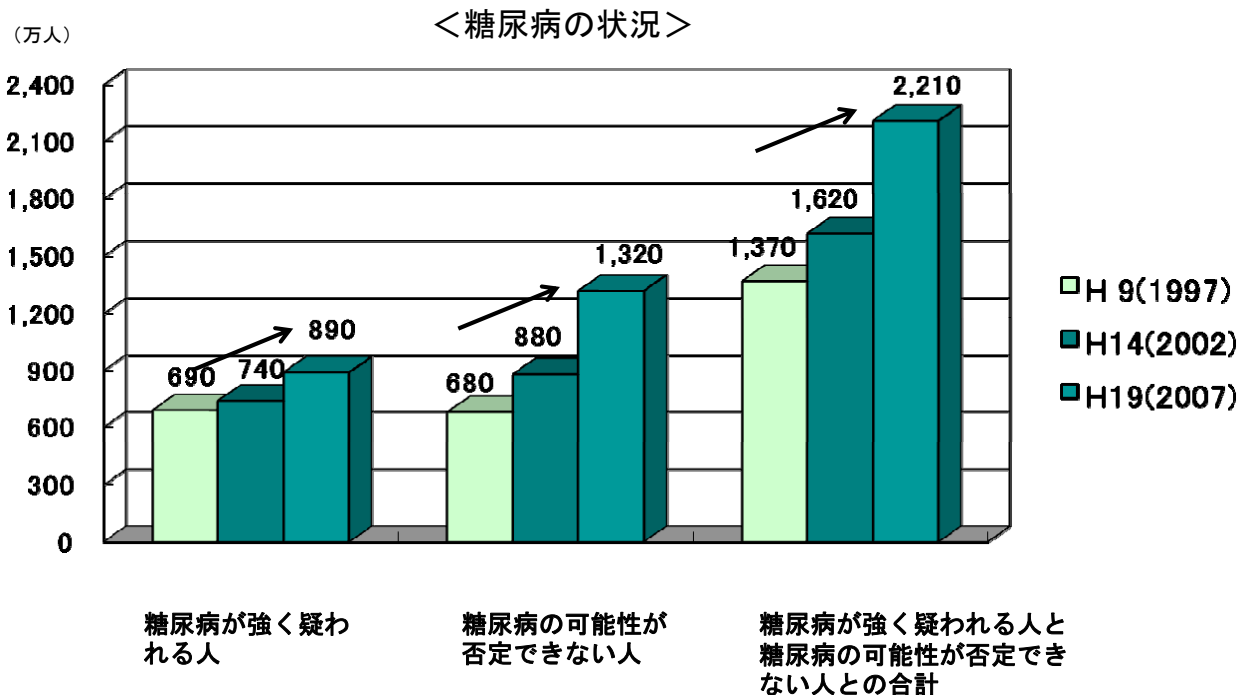
<自分にとって適切な食事内容・量を認知している者の割合>



<肥満者及びやせの者の割合>



○糖尿病が強く疑われる人は約890万人。糖尿病の可能性が否定できない人は約1,320万人、合わせて約2,210万人と推定され、増加している。



▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼(糖尿病実態調査(H9,H14)と同様の基準)
 ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
 ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

新たな国民健康づくり運動に向けて

平成21年度(2009) 平成22年度(2010) 平成23年度(2011) 平成24年度(2012) 平成25年度(2013)



健康日本21 (H12年度～24年度) の推進

○ 健やか生活習慣国民運動 (H20～H24年度) の推進

・ 食生活、運動、たばこの3分野に重点化 ・ 啓発手法の開発 ・ 産業界との連携



女性の健康づくり対策

普及啓発の推進

平成23年「女性の健康週間」イベント
～今、なぜ女性の健康づくりの視点が大切なのか～

日 時：平成23年3月2日(水) 14:30～16:30

場 所：千代田区立 内幸町ホール
東京都千代田区内幸町1-5-1

主 催：厚生労働省

目 的：女性の健康づくりの推進について普及啓発を図る

対象者：一般 学生 行政職員 健康保険組合職員 など

内 容

講 演：内科医からみる成熟期女性の健康

シンポジウム：先進的な女性の健康づくりの取り組み、地域の連携に
ついて

健康的な生活習慣づくり重点化事業 (糖尿病予防戦略事業)について

【事業目的】

糖尿病の発症を予防するために、生活習慣を改善し、適切な食生活や適度な運動習慣など、糖尿病予防に取り組みやすい環境を整備することを目的とする。

【事業内容(予定)】

①壮年期以降の糖尿病予防対策

飲食店が行う栄養成分表示やヘルシーメニューの提供の促進、周囲(家族・職場)の支援を促進するためのワークショップの開催等、食生活の改善を継続的に進められる環境整備

②20～30歳代をターゲットとした肥満予防対策

健全な食習慣と運動習慣が形成できる取組を民間企業と連携する等、肥満予防の取組が実施しやすい環境整備

【実施主体】都道府県・保健所を設置する市・特別区

【予算額(案)】 37百万円 【補助率】 1/2

※申請が多数あった場合は、事業内容を精査し、予算額内で補助する予定